

推薦する取り組み

園館名

Wild meæt Zoo

大牟田市動物園

～駆除された動物を動物園のご馳走に～

推薦理由

獣害問題や動物福祉の問題は世界中の課題である。両者を組み合わせ、さらに、その中核に動物園を介在した取り組みは世界的にもユニークである。このユニークかつ複雑な課題に率先して取り組んでいる大牟田市動物園は、エンリッチメントの領域に留まらない多大な貢献をしている。【背景】近年、野生鳥獣による被害のため各地で駆除が行われているが、その90%以上が廃棄されている。一方、日本の動物園では屠体が入手困難であり、肉食獣本来の採食行動を引き出すことが困難である。【Wild meæt Zoo(ワイルド・ミート・ズー)とは】動物園職員、科学コミュニケーター、大学教員、ジビエ事業者、行政関係者からなる非営利団体である。動物園における動物福祉の課題と地域の獣害問題の両者を繋ぎ、各地で駆除された動物の利活用をその地域の動物園において実施していくことを目指している。【実践】ライオン、トラ、ヒョウに対して屠体を計14個体与えた。昨年より、屠体給餌時の定量的な行動観察を開始し、トラでは、普段みられる往復歩行が全く観察されず、休息行動が大幅に増加した。さらに、屠体に藁をかける特異的な行動が記録された。この行動は、既知の報告がなく、これまで知られていなかった行動を引き出した可能性がある。【課題と対策】①駆除動物由来の感染症 独自に考案した低温殺菌を施すことで、安全性を確保している。②来園者への心理的負担 給餌時に来園者に趣旨説明し、102名ものアンケート調査(大学の授業の一環でもある)を行った。その結果、約90%で肯定的な意見を得た。③経済的負担 研究助成金を費用に充ててきた。今後は一般の方からの寄付も募る予定である。【実績】一般公開シンポジウムを動物園で開催し、全国から90名を超える参加があった。京都市動物園で実施するなど他園館への広がりを見せている。論文3本。学会等の発表15回。メディア露出9回。ビジネスコンテスト最優秀賞。研究助成金採択2回。



シンポジウム
**駆除された野生獣を
 動物園の動物福祉に役立てる**
 ～地域における獣害問題と動物園の動物福祉問題をつなぐ新たな実践活動～

日時 2019年3月13日(水)
 10:00～15:45

場所 大牟田市動物園(レクチャールーム)
 参加費無料・事前申込不要
 ※ただし入園料(大人370円)が必要、駐車場は無料

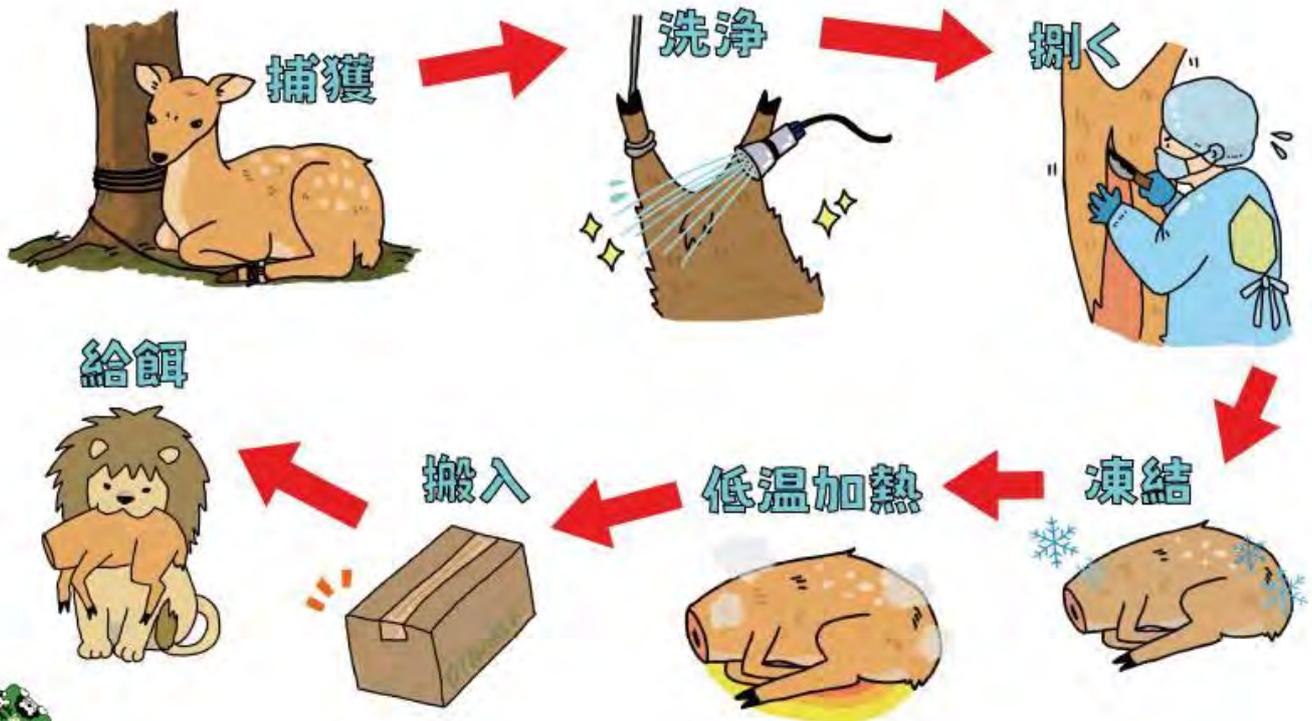
◆主催 九州大学持続可能な社会のための決断科学センター
 ◆共催 大牟田市動物園、Wild meæt Zoo、九州大学大学院地理社会統合科学府

◆問い合わせ先
 九州大学 持続可能な社会のための決断科学センター 細谷忠則
 メール: tadatsugu.hosoya@848.rim.kyushu-u.ac.jp

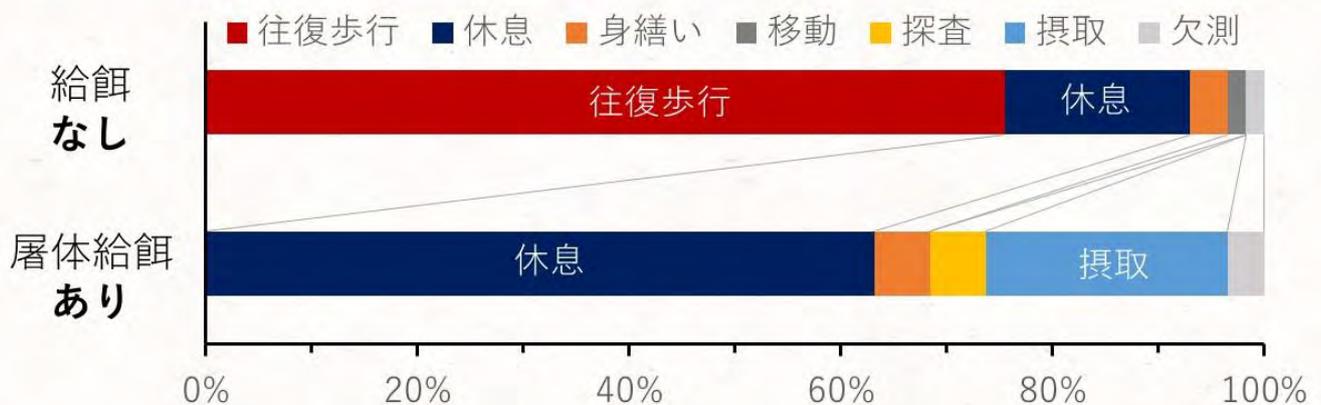
本シンポジウムは国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)「フェーズアップ」(課題・実業・産学)共同研究の基盤による問題解決型研究(最上研究費)20年度九州大学QRプログラム(研究開発強化プロジェクト)の実現を受けて開催する。



ごちそうが届くまで（処理・加工フロー）



トラの行動に与える影響（暫定）



単純比較はできないが、
良い影響を与える可能性あり？